

① 導入～なぜ家族教室か？

家族教室に参加される方は、対応法を学びたい方、支えの場を必要とする方など様々です。まず、初回では、統合失調症治療における家族の関わりの重要性、そして家族教室の意味、効果、今後行う内容につきスライドで説明していきます。参加されるご家族のご希望や困っている内容をお聞きしつつ内容を組み立てていければと思います。

② 統合失調症とは

どのように対応するかの基礎として、まず「統合失調症」につき知る必要があります、その説明を全体的に行っていきます。説明が終了次第、各御家族に感想につき、事例を混ぜて尋ねていき、それを場で共有していきます。

③ 治療法について

この回では、治療法につき、踏み込んで説明します。すでに自習している御家族も多いことを踏まえ、教科書的な点より、やや実践的な踏み込んだ点についても触れていきます。リハビリテーションに関しては、入院、外来、福祉で利用可能なものとその意義につき述べていきます。

④ 症状との付き合い方

薬物療法を行っても症状が残る場合があります、その症状とどのように付き合っていくかが、本人・家族にとって重要です。統合失調症の認知行動療法の考え方をベースとして、代表的な症状とその対応法につき説明します。生活を共にするご家族を対象とするため、陽性症状のみでなく、陰性症状や認知機能障害、抑うつ、イライラについても扱っていきます。

⑤ 社会生活のコツ

慢性疾患である統合失調症を抱えつつ、どのように生活すればよりよくやっていけるのか、食事・運動からリハビリ、生活リズムの獲得といった、実践的な「生活のコツ」につき情報提供します。そして「うまく生活する」ために各種社会資源の利用は必要不可欠のため、各種社会資源およびその利用方法につき情報提供いたします。

⑥ 家族ができること

これまで学んだことを生かしつつ、実際にどのように患者とかがかわればいいのか。「High-EE から Low-EE への転換」を軸に、「感情的にならず、ゆったりと、しかし冷たくなならない抱え環境」をどのように作っていくか、事例も交えつつ情報提供いたします。後半では、各家族に、実際の関わり方での質問をいただき、それについて答えていきます。

⑦ 幻聴・鎮静の疑似体験

PCを使った疑似体験システム（幻聴1台、妄想1台）を準備し、実際に、患者がどのような体験を抱えつつ生活しているのかを順番に体験していきます。並行して、第6回での「いかに家族が接していくか」につき引き続き質問・意見をいただき、それに対して情報提供を行っていきます。

⑧ まとめ、話し合い

まず、第1回～6回（第7回は体験型）の内容につきスライドで総復習を行います。そのうえで、これまでの内容（病気、治療・リハビリ法、家族の関わり方）への質問やこれまでの感想をいただき、それにつき答えつつ、御家族間での情報共有をしていきます。

さ さ
さ さ
え え
ら て
れ い
る く
こ こ
と と

統 合 失 調 症

家 族 教 室

統合失調症の治療・リハビリには、じっくりと時間をかけた関わりが必要です。

どのように関わるか、本人の苦しみにどのように寄り添っていくか。

本人の力になるために、そしてご家族自身が疲れ切ってしまうために。

実際に即した情報を中心に、お伝えしつつ、共有していければと思います。

みなさまのお越しを、お待ちしております。

2012.04.04 Start

第1,3水曜日、14:30-15:50（全8回開催）

ご希望の方は、主治医、看護師、相談室まで

医療法人 永寿会

恩方病院

〒192-0153 東京都八王子市西寺方町105

Tel:042-651-3411 Fax:042-651-3412

HP: <http://ongata-ho.jp>